

介護福祉科3年生の「手話講習会」のようすをお知らせします。

介護福祉科は1・2年生から福祉未来創志科と学科の名称が変更になりましたが、介護福祉士の国家試験合格を目指して毎日の勉強に励んでいます。

6月22日の3・4校時は宮城県聴覚障害者協会から3名の皆様を講師としてお迎えし、「手話講習会」を開催しました。会場は3年4組の教室です。新しい校舎では、すべての教室に黒板投影タイプのプロジェクターが配備されています。

〈生徒の感想①〉

私たちは、地域交流の機会などで地域のみなさまに喜んでいただけるようにと、手話ソングを勉強しています。本日の講習会の中で、手話表現で話すときには「寒い」と「こわい」のような似たような動作でも顔の表情が大切だということ学びました。手話ソングでも表情豊かに表現できるように頑張ります。（松浦実咲さん、沖野中出身）



〈生徒の感想②〉

今まで何度か手話を教わる機会があって、手話には興味を持っていました。今回も聴覚障害者協会の皆様から直接教えていただく機会があって、東日本と西日本では手話の表現が異なる事など、新しい視点で手話について学ぶことができました。とても楽しい時間でした。

（平間優香さん、仙台二中出身）

〈講師の方々から〉

立派な挨拶に感激しました。

短い時間でどれだけ手話について伝わるか不安でしたが、楽しく盛り上がっていただけてうれしいです。これから聴覚障害者と会った時には、あまり自信がなくても、まずは「相手に伝えたい!!」という気持ちが必要です。トライしてみてください。



〈介護福祉士の国家試験受験資格が取得できます。〉
〈2年連続で全員が国家試験を合格できました。〉

〈すべての教室に高速LANと
黒板投影タイプのプロジェクター配備〉